



SERVICE CLUB TO THE YMCA
名古屋 プラザ (月報)
THE Y'S MEN'S CLUB OF NAGOYA PLAZA



西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

2012年12月号

「主題」

- 国際会長 : 世を照らす光になろう
アジア地域会長 : 歳月はY'sをワイズ(賢者)にする
西日本区理事 : 先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で
中部部長 : 前へ! 声を掛け合い
プラザクラブ会長 : 明日に希望を クラブに活力を

強調月間・ポイント:【EMC-M・EMCのMはMembership. 会議や奉仕など、どんな活動にも会員間の交流と親睦を図る工夫をして、ワイズライフを楽しみながら関係を強めよう】

12月例会および今後の予定案内

【12月第1例会(クリスマス例会)】

日時: 12月13日(木)・18:30-

場所: ケンポー

費用: ゲスト・4000円/人

◆プレゼント交換を行いますので、各自1000円程度の品物をご用意ください。

【12月第2例会】

日時: 12月27日(木)・18:45-

場所: 名古屋YMCA会議室

内容: 次月例会の打ち合わせ

出席義務者: 役員(高田・櫛田・常盤)

1月担当者(鈴木・高田)

2月担当者(櫛田・小澤)

【今後の予定】

1. 老人ホーム音楽慰問

日時: 12月16日(日)・小澤宅集合11:30

場所: アミーユ高辻 (公演時間14:00-15:00)

名古屋市瑞穂区雁道町1-17-1 TEL052-889-4507

2. クリスマスキャロル IN セントラルタワーズ2012

日時: 12月23日(日・祝): 現地集合16:00

場所: JR名古屋駅タワーズガーデン

3. 1月第1例会(新年例会)

日時: 1月10日(木)・18:45-

場所: 名古屋YMCA会議室

4. 1月第2例会

日時: 1月24日(木)・18:45-

場所: 名古屋YMCA会議室

11月例会および例会外活動報告

(敬称略)

役 員	会 員 氏 名	出 席 者						
		1	2	①②③④⑤⑥⑦				
直前会長	大島 孝三郎	○	○	○	○	○	○	
副会長	小澤 幸男	○				○		
書記	櫛田 守隆	○	○			○		
	後藤 猛	○	○			○		
	島崎 正剛	○			○	○		
	鈴木 誉三	○			○	○		
会長	高田 廣	○	○	○	○	○	○	
会計	常盤 眞理子	○	○					
連絡主事	万福寺 昭美	○	○			○	○	
ゲスト								
諸活動	①「こころのケアを考える」講習会 11/3							
	②西日本区大会実行委員会 11/6							
	③チャリティラン準備作業 11/9							
	④チャリティラン 11/10							
	⑤名古屋地区会長連絡会議 11/21							
	⑥YMCA チャリティゴルフ 11/23							
	⑦							
出席率(%)							100.0	
クラブファンド(円) ・ 当月／累計					0	17700		
1月号寄稿者・常盤 (400字詰原稿用紙4-5枚程度) ／2月号・万福寺／3月号・小澤／4月号・鈴木								

【2012-13年度クラブ役員】大島孝三郎・メール委員/小澤幸男・Yサユース/櫛田守隆・広報事業、ブリテン担当、HP委員/後藤猛・

副会計/島崎正剛・EMC. 交流/鈴木誉三・会計監査. 地域奉仕. 環境/高田廣・ファンド/万福寺昭美・連絡主事

EMC-C=Extension Membership & Conservation・新クラブ設立、会員増強と意識高揚

11月第1例会報告

日時:11月8日(木)・18:45-20:45

場所:名古屋 YMCA 会議室

1. 卓話「ワイズ談義」

講師:島崎 正剛さん



常盤さんが入会した直後、「ワイズについて多少の知識でも」と卓話の講師を買って出た島崎さんでしたが、コミュニケーションが時々入って延び延びになり1年3ヶ月目でようやく実現しました。

ということで、今年で26年目になるプラザの生い立ちから。1987年4月、東海クラブから分かれて設立した時のメンバーは27人ほどで、いま在籍している人は小澤、後藤さんの2人だけになった。当初は突っ張った連中が多かったらしく、独自のクラブ運営がワイズ組織の中で浮き、クラブとしてのアイデンティティを失い会員の減少を招いた、ようだ。以後ワイズの原点、YMCAの活動を支援する、国際・地域・区および部の事業に協力・支援する、などのモットーに則りYMCAがサポートするパレットキッズ(軽度発達障害児・学習障碍児)の野外活動支援と小澤さん発案の老人ホームへの音楽慰問をクラブ独自の奉仕活動として定期的に行っている。なお数年前まで、インフルエンザに罹った5歳以下の乳幼児へ、特定の解熱剤を投与した場合、脳症を発症する確率が極めて高い、ということを公開講座開催で医療関係者に広報する「インフルエンザ・脳症の会」の支援をしていた。しかし、インフルエンザと特定薬剤との因果関係が広く認知されるとともに「脳症の会」の広報活動は打ち切れ、われわれの役目も終わりにした。

そのほか、ワイズの歴史や組織、会計年度、IBCなど広範囲に大体の事情を解説していただきました。不勉強のわたくしも参考になりました。常盤さんはどうでしょうか。

2. 西日本区大会実行委員会報告・鈴木

来年6月21日-23日名古屋ウエスティンホテル・能楽堂で行われる3日間の会場整備、受付、案内などの準備作業が中部9クラブに各々割り当てられた。プラザクラブは津・南山・グランパス・金沢とともに22日(土)の能楽堂会議室を担当し一般会員の受

付、荷物預かり、片付けなどですが、まだ確定ではありません。

2. 連絡事項・高田

(1) チャリティラン

現地集合8時15分、作業は距離表示版設置・撤去、コース整理、清掃作業です。

(2) YMCA チャリティゴルフ

参加者、大島・高田・万福寺さん、OBの横井さん。

(3) 12月第1例会(クリスマス例会)

(詳細1面参照)

3. 老人ホーム音楽慰問・小澤

日時は12月16日(日)を予定、場所は未定です。

4. ブリテン担当からのお願い・櫛田

強調月間の12月ポイントにもあるように「ワイズ会員同士の交流と親睦」の実践を明確にするため、募金活動、講演会などYMCAの主催行事、ワイズの区大会、部会、他クラブの例会および「根の上まつり」「釣り大会」などの主催行事に参加された方は、第2例会までにご連絡ください。会長、主任、主査としての役割の場合でも同様です。また、400字以内の簡単な報告を依頼することがあるかもしれませんが、そのために連絡を放棄しないようお願いいたします。

5. チャリティラン準備作業・万福寺

11月9日(金)午後6時よりラッフル詰め作業がYMCAの会議室で行いますので、お手伝いをお願いします。

11月第2例会報告

日時:11月22日(木)・18:45-19:30

場所:名古屋 YMCA 会議室

1. 連絡事項・高田

(1) 確認

a. 12月クリスマス例会 12月13日(木)18:30

b. 老人ホーム音楽慰問 12月16日(日)11:30

(2) 会長連絡会議

a. ワイズメンズクラブのエンブレムが変更されます。時期は未定。

b. クリスマスキャロル、今年は人手が足りないので会場設営お手伝いをお願いします。現地集合午後4時です。

c. 1月例会に荒川部長が公式訪問されます。

2. YMCA 連絡・万福寺

YMCAの年末年始休み 12月30日-1月4日

「こころのケアを考える」講習会

11月3日(土・祝)の午後1時から5時まで名古屋YMCA3階会議室に50人余りを集め、「こころのケアを考える」講習会が、野村靖子メネット事業主任の司会で始まった。



まず西日本区理事成瀬晃三氏の挨拶があり、次いで仙台 YMCA 総主事光永氏の話や東日本大震災の被害状況、復興作業などのDVDを見る。話の中で印象に残ったのは、岩手大学の学生ボランティア集団が50kmの道のりを通い、日に5時間かけて活動してくれている。1日や2日ならばともかく、1日も休むことなく仙台周辺の復興作業を現在もしていることであった。

第2部は金城学院大学教授心理学者の宗方比佐子さんの心のケアを考えるテーマで講習があった。1.心のケアとは 2.被災者の心の状態 3.心の回復に関する理論 4.専門家による治療技法 について2時間にわたり熱弁をふるわれた。意義ある講習会だった。

(高田 廣)

チャリティラン交友記

15分遅れて着いた約束の場所に、缶ビールのカートンが入ったコンビニ袋が置いてある。後藤さんが来ているらしいが、どこで何をしているのか分からず、荷物番のつもりで待つこととした。

飲み物にうどんを提供する開店準備で忙しい東海、グランパスのブースを訪ね、長谷川さん、服部さんに陶芸教室のお礼と12月の絵付けの参加を確認する。



戻ると名古屋クラブの小谷さんがお見えになった。ご挨拶をして傍らの缶ビールを勧めて乾杯、9月大阪中西部部会に出席した折、隣席の茨木クラブメンバーから「知り合いがプラザにいますので会う機会があったらよろしくとお伝えください」との言付けにお礼を言う。後でそのことのメールをいただき、お返事をしていなかったことを思い出して恥じ入る。

コースに旗と距離表示の看板を設置して回った連中

が帰り、集合場所が賑やかになった。各自持参したおにぎりを頬張りながら、かつて松永さんが松花堂弁当や飲み物を調達され、車座になって食事したことが先回の例会で話題になった。

11時半、個人レースが始まり、わがクラブ担当のコースの整理に全員が走って持ち場に着いた。島崎さんと高田さんは、スタートして最初の左回りの場所で誘導している。手をつないだ親子、段ボール製のロボットたちが勢いよく駆け抜ける。

荷物番に戻ると、松永さんがひょっこり顔を出す。お変りはなさそうだ、二三言葉を交わして帰られた。



秋空の下YMCA、ワイズメンバー、ボランティアスタッフのみなさん、三菱商事、富士通など多くの企業の支援を得て、盛大に行われたことに感謝します。

名古屋YMCAチャリティーゴルフ



11月23日(祝)、中部国際ゴルフクラブでチャリティーゴルフが開催され、プラザからは、大島、高田、元メンバーの横井各氏と万福寺が参加しました。

朝から雨が降る生憎の天候の下、この雨はいつまで降のだろうと、グーグルの天気予報を気にしながらゴルフ場へ向かう。

第1組がスタートする8時42分には雨もあがり、やや寒い中でのラウンド開始となりましたが、午後には少しの晴れ間も見え始め、終わってみれば好天(好転)の1日となりました。

私たちプラザクラブの4名は第1組でしたが、和気あいあいの楽しいラウンドとなりました。チャリティーゴルフには、名古屋・南山・東海・四日市・プラザの各ワイズ、その他YMCAに関わる方々を含め、総

勢 16 名が参加し盛況のうちに終了しました。

優勝は 88 打でラウンドした横井氏でした。
(万福寺 昭美)

春を待つ

北国の人たちは春の来るのを待ち遠しく思っているそうです。私は毎年、今ごろになると溪流釣り解禁はあと何ヶ月かなあと僅か 2, 3 ヶ月のことが待ち遠しくて成りません。

先だって紅葉を観に開田高原へまいりました。開田高原には、岐阜県側(日和田高原)からと長野県側(木曽福島)の二通りの入りかたがあります。長野県側の開田高原には、御嶽山を源とする王滝川、西野川、黒川などの数本の川があります。西野川の源流近く、えん堤を上から覗くと、えん堤に落ち込む手前に水深 40~50cm の水溜りがあり、そこに 25 cm ぐらいのアマゴと、28cm 程のアマゴが 2 匹行ったり来たり悠然と泳いで居るのを見てしまいました。

又、えん堤の下には、川幅 40m、奥行き 10m、水深 150cm 程の底まで見通せるプール状の場があり、そこには確実に岩魚(岩魚は上から見るとムナビレが白く縁どられている)と思われる 25cm~28 cm ほどの成魚が 7, 8 匹、たぶん産卵で下流から昇って来て、えん堤の高さが 2m 程度あるので遡上が難しいのか、この場で集まって産卵をするのではないかと思います。

さらに、えん堤から 4, 50m ほど上流に土橋がありそこから下を覗くと二筋の流れがあり、その上流は一筋になり流れ昇っています。橋の下から上流にかけアマゴの 14, 5cm の群れが盛んに虫を追っかけライズしている場所に出会い、しばらくぼう然と見つめていました。何時もマイカーのトランクには溪流釣りの釣具一式が入っていますが、禁漁期間(10 月 1 日~1 月 31 日)なので釣りをするのをぐっと我慢をし、翌年の解禁日(2 月 1 日~9 月 30 日)まで待つことにしました。

春になれば山菜が芽吹く季節になり、雪の下に一番早く出てくるのがフキノトウ、次にコゴミが川沿いに一株 5, 6 本芽を出し一目みれば直ぐコゴミだと分かります。ワラビは 5 月、6 月上旬に芽を出します。土手や傾斜の有るところでは、下から上へ目線を配って見ると生えている場所が良く分かります。ウドも 5 月、6 月上旬にワラビなどと同じ時期に出てきます。なだらかな山の斜面に生えるのが特徴です。

山菜の王様は何と言っても、タラノ芽ではないか、天ぷらにすれば其のモチリ感のある食感は皆さんに喜ばれています。ただし、木にトゲがあるから採るのに注意しなければなりません。

私の山菜摘みも、溪流釣りの帰りに始まった余録です。春が待ち遠しい年老いた釣り馬鹿な溪流釣り師です。
(後藤 猛)

聖書の言葉

【年老いた者が賢いとは限らず、年長者が正しいことを悟るとは限らない。(旧約聖書・ヨブ記)】

【ほかのクラブはブリテンに聖句を書くのは誰だろう、聖書から引用する基準はなに? といつも思う。ひょっとしたら、目を閉じて聖書を開き、指差したところをそのまま書いている、など不届きな想像をする。クラブに入会したころに参加した講習会で、「キリスト教は世界の哲学です」とのたまう講師の言葉に仰天したノンクリスチャンのわたしには、キリスト教についての知識が全くなく、先の想像と同じような方法、ネットのお世話になっている。今回は 10 月末、突然都知事を辞めて新党結成を表明した石原慎太郎氏(80)を「暴走老人」と述べた田中真紀子文科相(69)が、その 1 週間後に大学不認可発言をしている。どっちもどっちと上記の「聖句」を取り上げてみた。】

【旧約聖書のヨブ記からだ章節の記載がなく、出典は(岩波文庫 青 801-4)とある。今はやりの「超訳本」のたぐいからの引用らしい。超訳とは、『意識をより洗練した』もので、最近「超訳ニーチェの言葉」、「超訳古事記」などが出版されている。念のため、ヨブ記をザッと読んでみた。該当する箇所は見付けられなかったが、真反対の言葉があった。「年老いた者には知恵がある。命の長い者には悟りがある。(ヨブ記・12 章 12-13 節)、世の中いろいろの人が居るから面白い、ということか。】

Z o o m ・小 2 の算数、解けますか?

【とい】3 人に 2 こずつ りんごを くばります。

りんごは 何こ ひつようですか。

【しき】() × () 【答え】() 個

11 月 5 日付中日新聞の記事『“正しい順序”にこだわる?』に載った例題である。小学校 2 年生が秋から掛け算を習い始めるが、掛け算の式に順序があるらしい。順序とは? 文科省の指導要領に「 10×4 は、10 が 4 つあることから、40 になる」の記述から、教科書会社は「順序に意味がある」という。掛け算は『1 つ分の数』掛ける『いくつ分』という順序である、具体的には 2 個ずつ、3 人分で 6 個、要は $2+2+2=6$ 、したがって式は 2×3 答え 6 個となる。もし 3×2 とすれば、3 個ずつ 2 人分 ($3+3$) の意味でバツである。文科省は「順序については国が定めるものではない」と言い、教科書会社の解釈は『深く考えすぎだと思ふ』と突っぱねている。しかし、現場では順序が逆の場合は、誤りと指導しているから厄介だ。

時々遊びに来る来年小学 1 年生の孫娘に、先の文章問題を「どうして、どうして」と五月蠅く聞かれるかと思うと、数学が苦手なわたしは今から憂鬱である。